

# 人にやさしい国は、 いかに創られたか

～「純粋な人生」と声をかけあう

コスタリカから



2017年  
6月15日  
伊藤千尋



## 伊藤千尋(いとう・ちひろ)

- ・ 1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。  
在学中にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティア、  
東大「ジプシー」調査探検隊長
- 1974年、朝日新聞に入社。長崎、筑豊支局、社会部、外報部など経て、  
サンパウロ支局長(中南米特派員)、バルセロナ支局長(欧州特派員)、  
ロサンゼルス支局長(米州特派員)  
2014年からフリー・ジャーナリスト。これまで78か国を取材  
「コスタリカ平和の会」共同代表、「九条の会」世話人
- 著書に『凜とした小国』『辺境を旅ゆけば日本が見えた』(新日本出版社)、  
『反米大陸』(集英社新書)、『燃える中南米』(岩波新書)、『今こそ問われる  
市民意識』(女子パウロ会)、『キューバー 超大国を屈服させたラテンの魂』  
『観光コースでないベトナム』(高文研)、『活憲の時代ーコスタリカから9条  
へ』『地球を活かすー市民が創る自然エネルギー』(シネフロント社)など



＜3つの実現＞  
 平和立国  
 教育立国  
 環境立国

# 「世界で一番幸せな国」 (2014年)



## Costa Rica (豊かな海岸)

- ・熱帯、火山国
- ・海に挟まれた地峡
- ・面積は北海道ほど



- ・人口は約500万人
- ・スペイン語
- ・白人がほとんど
- ・美人国

# 首都サンホセ、オペラ座通り



## コスタリカ憲法（1949年）

第1条 コスタリカは自由かつ独立の民主共和国である。

第12条 常設の組織としての軍隊は、これを禁止する。公の秩序の維持に必要な警察力はこれを保有する。大陸内の協定または国内防衛のためにのみ軍事力を組織することができる。

# 国家の武装組織の3段階

- 警察—社会の治安維持  
国境警備隊—専守防衛、領土保全、密輸取り締まり  
軍隊—他国と戦う
- コスタリカ(人口500万人)  
警察(6500人)  
国境警備隊(3300人) 計9800人  
軍隊 0人
- 日本(人口1億2700万人)  
警察(28万人)  
国境警備隊(海上保安庁)(1万3000人)  
軍隊(自衛隊)23万人(予算規模は世界7位)



## なぜ軍隊をなくしたのか

- 内戦への反省
- 軍事費にカネがかかりすぎる



→何にカネを使えば  
社会は発展するの  
か？

# 教育だ！

<軍隊廃止時のスローガン>

- 兵士の数だけ教師をつくろう
- 兵舎を博物館にしよう
- 武器をバイオリンに替えよう
- トラクターは戦車より役に立つ



フィゲールス大統領と  
カレン夫人



# 国立歴史博物館、元兵舎



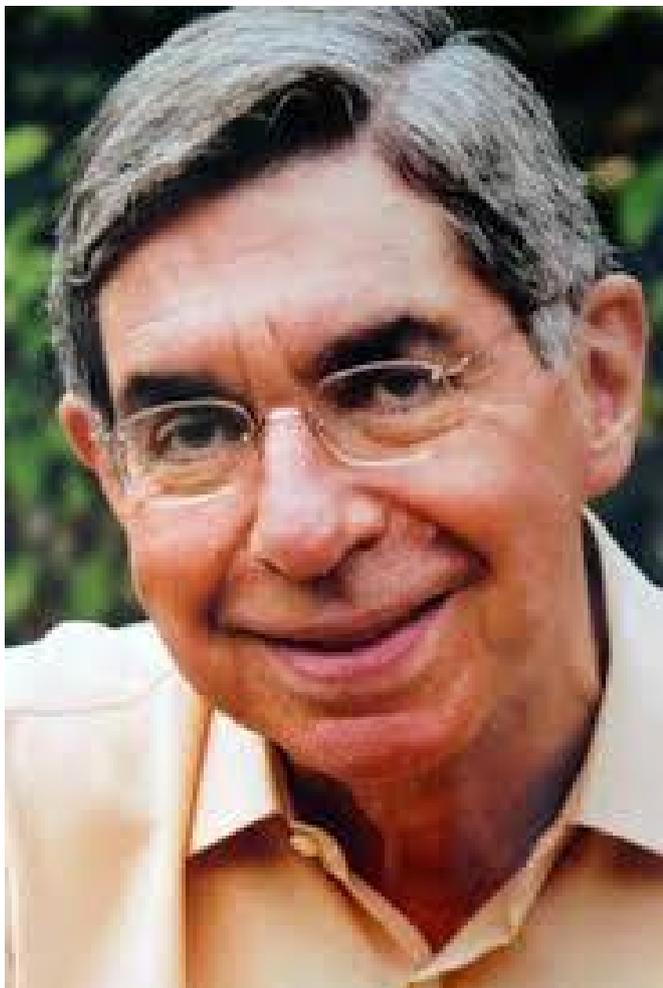
「武器は勝利をもたらすが、  
法律のみが自由をもたらす」



# 国連平和大学



永世、積極的、  
非武装中立宣言  
モンヘ大統領



オルカル・アリアス  
大統領

(1986~90)

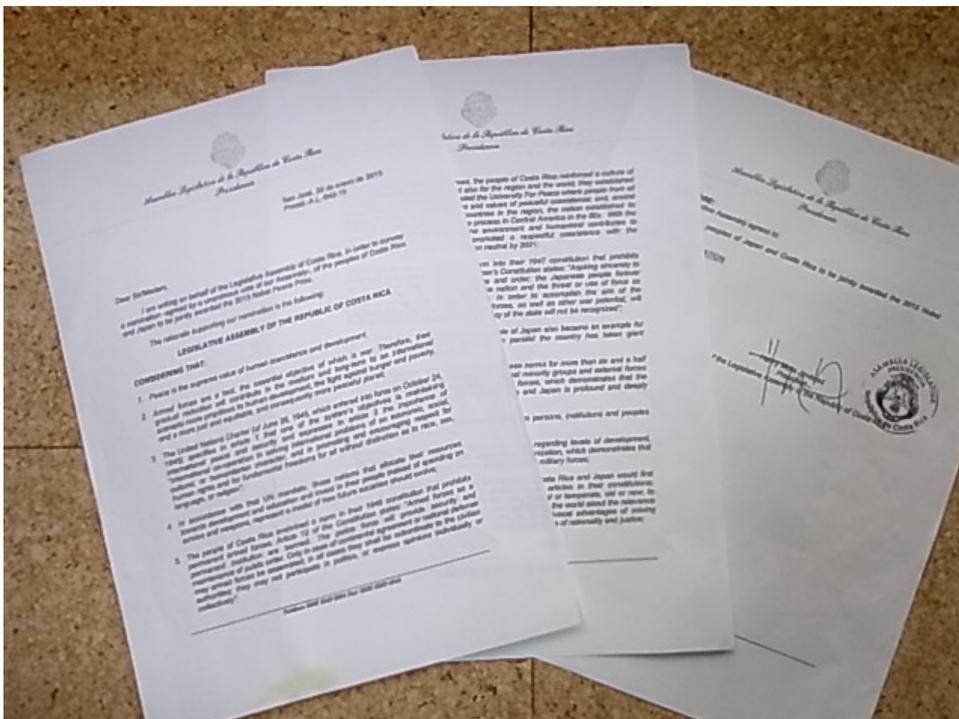
(2006~10)

1987年  
ノーベル平和賞  
受賞

# アリアス大統領 国連総会演説(1986年9月)

- 私は武器を持たない国から来ました。私たちの子どもたちは戦車を見たことはありません。武装したヘリコプターや軍艦どころか、銃でさえ見たことはありません。
- 私は、小国ながら100年にわたる民主主義の歴史を誇る国から来ました。私たちの国では男の子も女の子も、弾圧というのを知りません。コスタリカが亡命者を出したことはありません。私たちの国は自由の国です。

## コスタリカ国会決議文 2015年1月

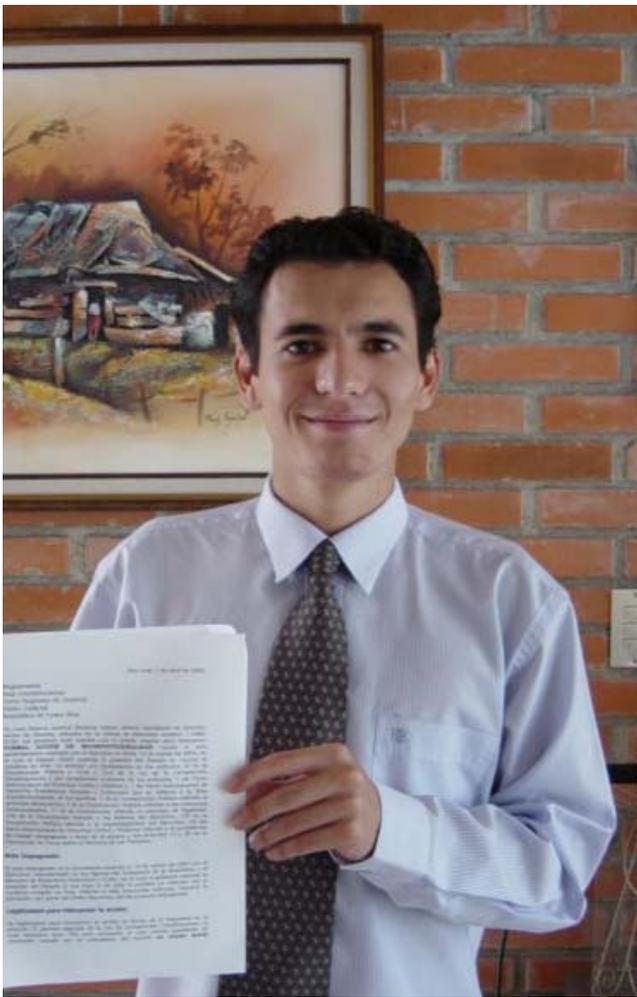


# 2017年2月、コスタリカ国会



## 国会の議場





大統領を憲法違反で  
訴え勝訴した

ロベルト・サモラ君

(2004年)

「憲法が危機に陥った  
とき、国民には闘う責  
任がある」(2017年)

## 小学生も違憲訴訟する

- 小学校に入学してすぐに習うのは  
「誰もが愛される権利を持っている」こと
- 憲法裁判所の制度(1989年から)

年間の違憲訴訟

**約2万件**

窓口は24時間、365日開く





## 最高裁判所

「基本的人権は常に守られなければならない」（最高裁のロドリゲスさん）

## 義務教育は無償

給食費も無償

高校・大学の学費も格安



# 文部省グロリアさん

- だれもが一市民として国や社会の発展に寄与でき、一人の人間として意識でき、何よりも本人が幸せであること
- 「わが国は人権の国です。他人の権利を認めることが平和につながる。自分と同じく他人の人生を人間として尊重することから民主主義が生まれる」



## 教育の目的

- 生徒自身が幸せで満たされること
- 同級生と道徳的な価値観を共有し共存、信頼関係を築くこと
- 自然との間で持続可能な発展ができること
- だれかの言葉をうのみにするのではなく批判的に考えて自分自身の考え方を抱くようになること
- 3つの柱＝民主主義、人権、平和

# 中学2年の「市民教育」の教科書

- 平和とは戦争がない状態を指すのではない  
平和学に基づく「積極的平和」を教える
- 「国家を統治している多くの人々は、ある一つの似通った、嫌な考えを持っています。権力を失うことを恐れています。裏切り、不誠実なスピーチを聞く機会がたくさんあります。金持ちの国家、政府は、その富を貧しい人々と分かち合わなければなりません」

## 平和学

- ヨハン・ガルトゥング博士  
積極的平和 (positive peace)  
消極的平和 (negative peace)



- 安倍首相の「積極的平和主義」  
(proactive contribution to peace)



# 大統領選で 子どもの模擬投票



# 大統領選挙のボランティア





バルガス先生と  
ニカラグア難民の  
幼稚園児たち  
難民100万人を  
受け入れた



## 環境保護の先進国

- エコツーリズム発祥の地
- 国土の4分の1が国立公園や自然保護区
- 1994年、憲法に環境権を導入  
「すべて国民は健康で生態的に均衡のとれた環境に対する権利を持つ」
- 1969年森林関連法、95年環境基本法  
早くから熱帯雨林の伐採をやめて植林に
- 地球上の全生物種の6%が生息  
(蝶類は前アフリカ大陸より種類が多い)
- 99%が自然エネルギー、原発ゼロ



## エコツアー



## カラソ元大統領



## 社会福祉

1940年から社会保障を確立  
整った医療保険、年金制度、  
低所得層は医療無料、  
所得に応じて累進課税(10~25%)  
保険制度は中南米で1位  
平均寿命79歳



国会の議員席(左)



(右)子ども博物館

経済の基本は  
農業

バナナや  
コーヒーなど



## 歴史の分岐点

- 1502年 コロンブスが来た、スペイン支配
- 1824年 中米連邦、清廉潔白な独裁者  
コーヒー輸出で豊かな国に
- 1848年 正式に独立
- 1856年 アメリカ人の侵略者を撃退
- 1940年から2大政党 社会保障の確立
- 1948年 内戦、軍隊廃止を決定
- 1949年 平和憲法施行
- 1983年 永世・積極的非武装中立宣言

## 人に優しい国はいかに創られたか

- 貧しい開拓移民が力を合せた、市民が創る対話型の社会、自由の尊重、階級や階層がない
- 鉱物資源がなく遠いためスペインの総督は視察に来なかった、自立意識が高まる
- 開明的な独裁者、権力者になると降ろした  
長い民主主義の実践
- 質素、儉約、勤勉、平等の気風
- 2大政党が社会民主主義を競って実践した

# プーラ・ビーダ（純粋な人生）

- 「純粋な人生」のコスタリカと「お疲れさま」の日本
- 2017年国連の「世界幸福度報告書」  
コスタリカは12位  
（途上国では1位）  
日本は51位

「経済大国」と「人生大国」



## 『凜とした小国』（新日本出版社）

### 『今こそ問われる市民意識』

（女子パウロ会）



# 映画「コスタリカの奇跡」

